



**「みなさんは、日々の暮らしの中に気の合う仲間やお友達がいますか？」**

5年後、10年後に向けて「住みやすい、住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

## 取材先

## 生品地区 生品音頭愛好会



生品音頭を通して つながりや絆を紡ぎつづけています

生品音頭は昭和35年に譜版ができました。長く愛され踊り継がれています。現在は27人の会員で毎月第2、4月曜日に生品行政センターで活動しています。コロナ前には生品小学校の児童に指導し、運動会で一緒に踊ったこともありました。現在は夏休みに生品もみの木学童の1年生に踊りを教えたり、市民講座で参加者に指導もしています。生品音頭保存会にしたらどうか？との声もありますが、色々な踊りを踊っていきたいとの思いから愛好会としています。会員の希望を聞きながら生品音頭の他に、令和音頭や日本舞踊も練習しています。「みなづき会」としてステージで踊りを披露したり「きさらぎ支部」としてグラウンドゴルフを楽しんだり多岐にわたり皆さんが活躍する場となっています。

あおき きみこ

会長 青木 紀美子さん 73歳

会長になって11年経ちました。

よさこいNITTA、木崎音頭保存会でも活動しています。また、約15年にわたり生品保育園の年長児に稲作の指導をしています(園児から「田んぼの師匠」と呼ばれています。つながる通信Vol. 90掲載)

「みんなが元気だから続けることができます。年を重ねても、みんなとても元気。おしゃべりして笑って、ここがみんなのお医者さんになっています」



# 地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

いしはら まさえ

## 石原 正江さん 85歳

祖父である石原亀吉さんが生品音頭の作詞をしました。おじいさんが作ったんだから会に入りなよ。と言われて20年前から活動しています。みんなと会うのが楽しくて会に参加しています。

太極拳を19年、生命の貯蓄体操、地区のグラウンドゴルフにも参加しています。

家に居るとテレビを観ているだけになってしまうけれど、会に出れば無理なく自然に体を動かす事ができます。



きむら

## 木村 さわさん 89歳

40代から本格的に踊りを始め、師範級の免許を持っています。生涯のほとんどが踊りにかかっています。

生きがいや元気、健康の秘訣は踊り。体も悪い所がなくて背筋も真っすぐです。

身内の畑で農業をやっており、採れた野菜や柿、ユズ、ミカンを踊りの生徒や友人に配っています。



すなが まさこ

## 須永 正子さん 81歳

日本舞踊を30年以上続けています。愛好会でも日本舞踊を踊るようになりました。

行政センターで百人一首(毎週土曜日)や地区の輪投げ、グラウンドゴルフにも参加しています。みんなに会えるのが楽しみで、家の仕事や草むしりも一生懸命頑張れます。



### ☆チェックポイント☆

顔を合わせて楽しくおしゃべりや情報交換することが会員のみなさんの元気の源になっています。生品音頭だけでなく色々な踊りを取り入れ、振りを覚えることが脳トレにつながっています。

### 地域のお宝情報を募集しています!

「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします!



### お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係  
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549  
TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229